

主催：再エネ100%と公正な社会をめざす「ワタシのミライ」

こんなにおかしいGX法！ワタシのミライはどこへ？

再エネ社会から遠のく日本

原発と再エネのコスト

松久保 肇（NPO法人原子力資料情報室）

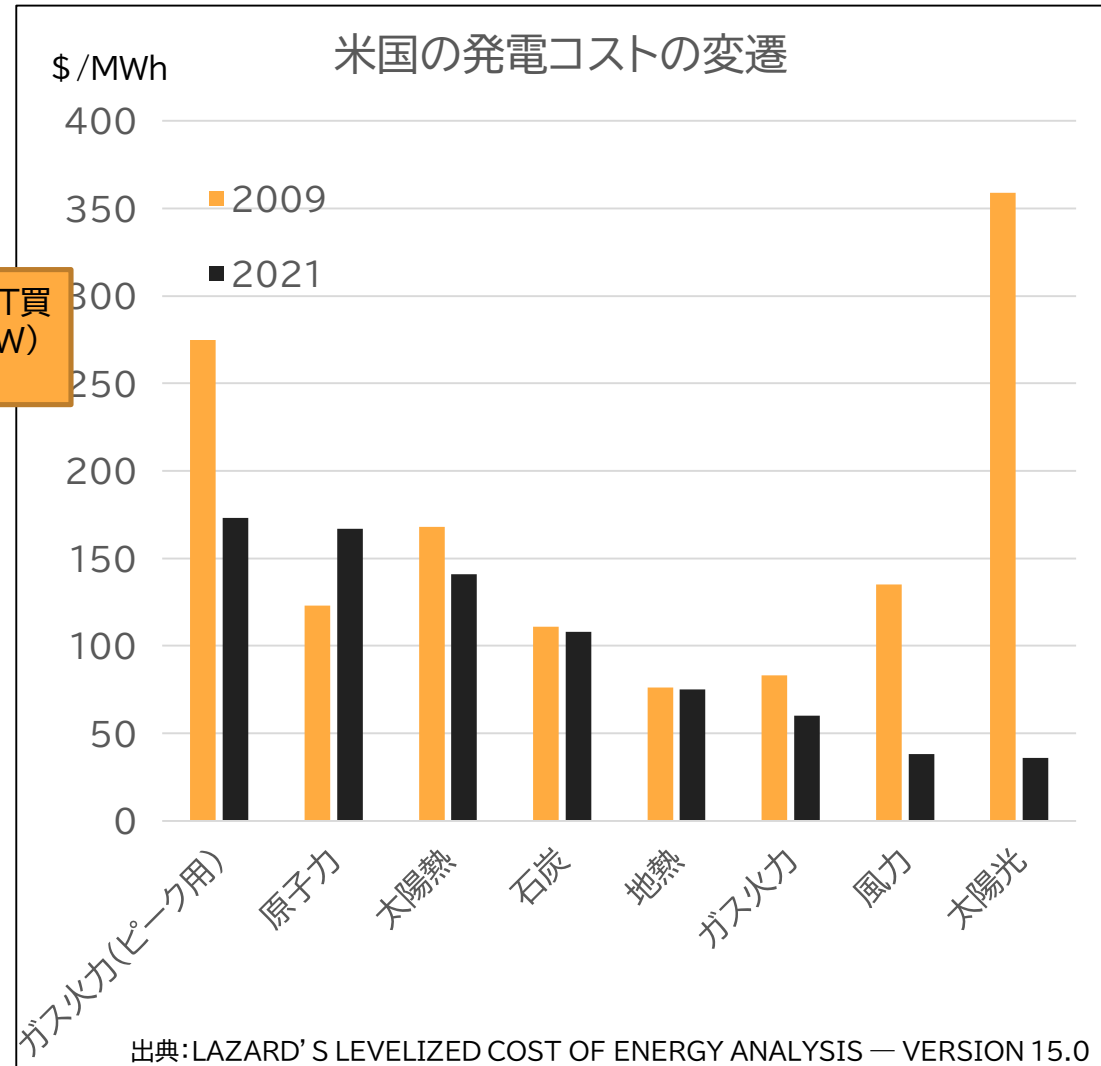
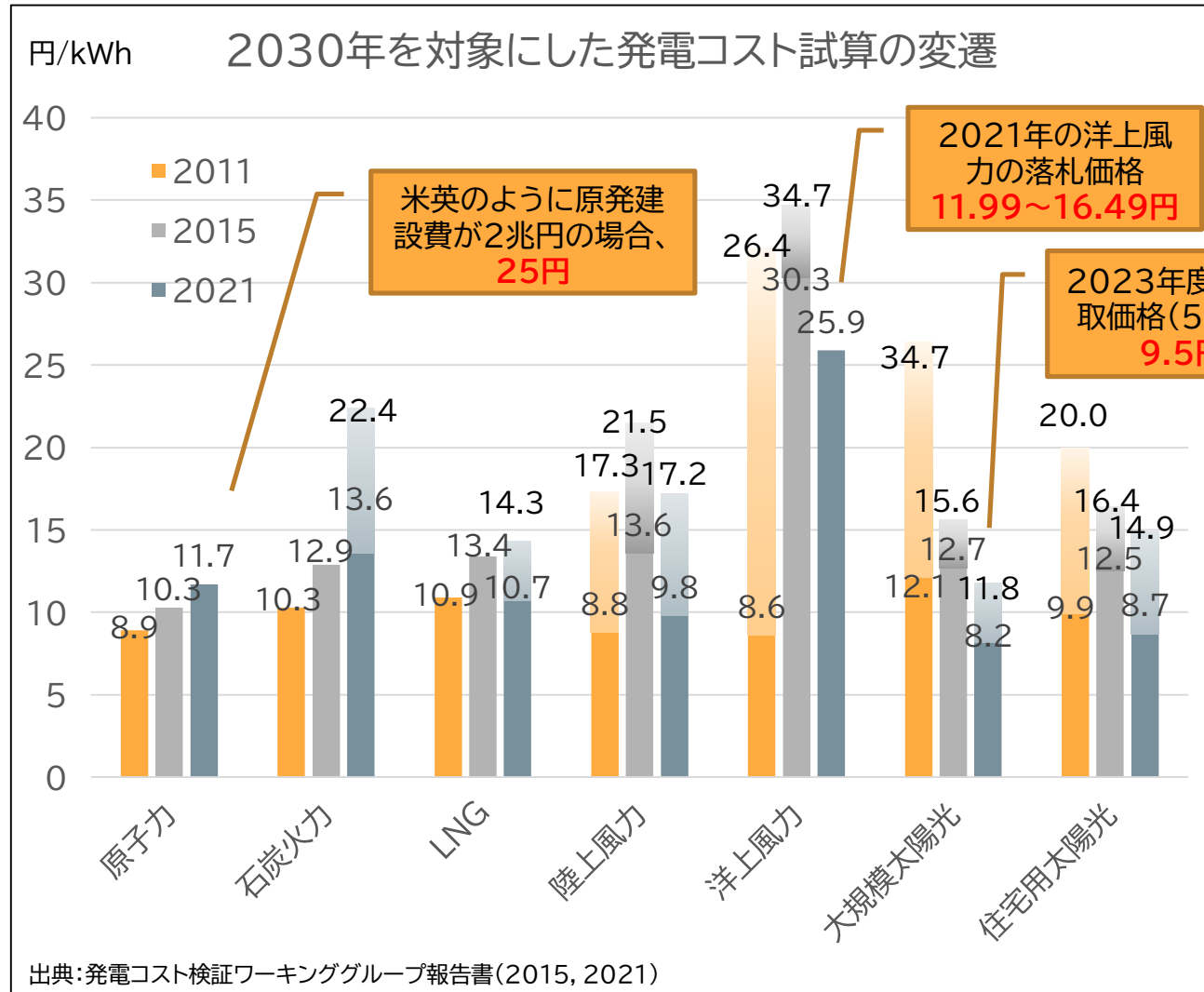
日時：5月23日(火) 16:00～

場所：衆議院第一議員会館 多目的ホール / オンライン

ワタシの
ミライ

下落する再エネ発電コストと上昇する原発発電コスト

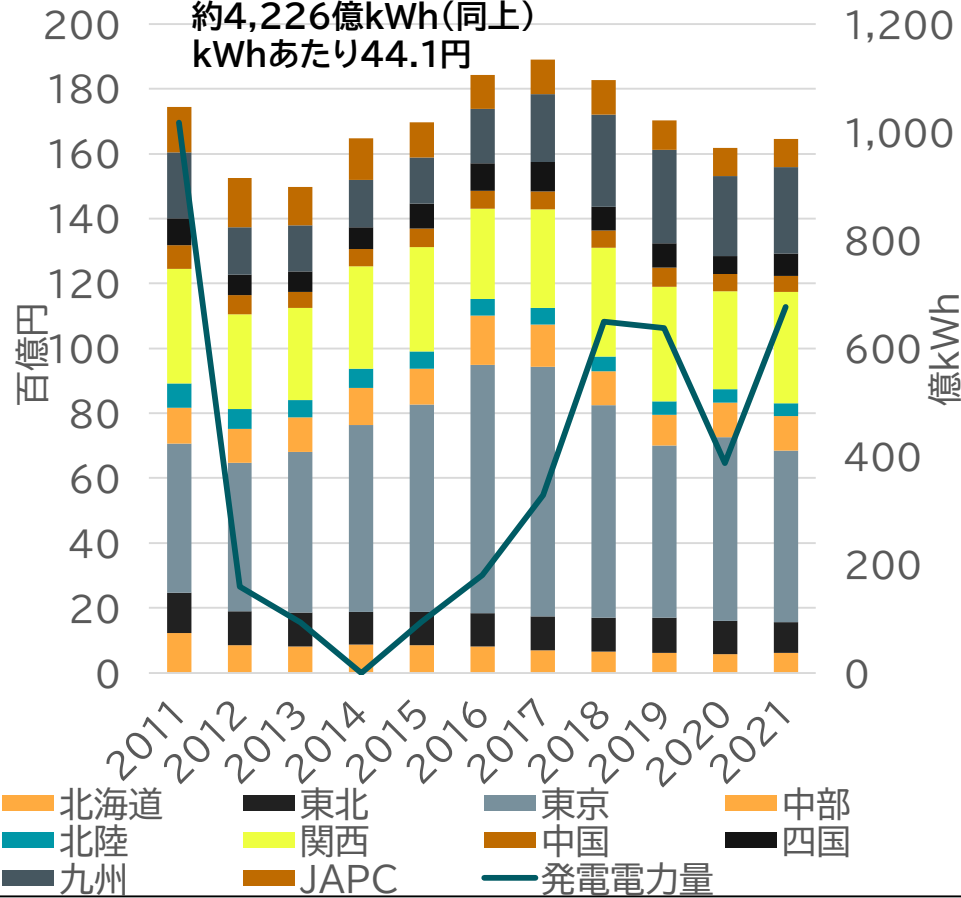
電力会社は自分でお金を出せないで、「事業環境整備」と称して原発建設費を国民に転嫁する方針



消費者が負担する巨額の未稼働原発維持費

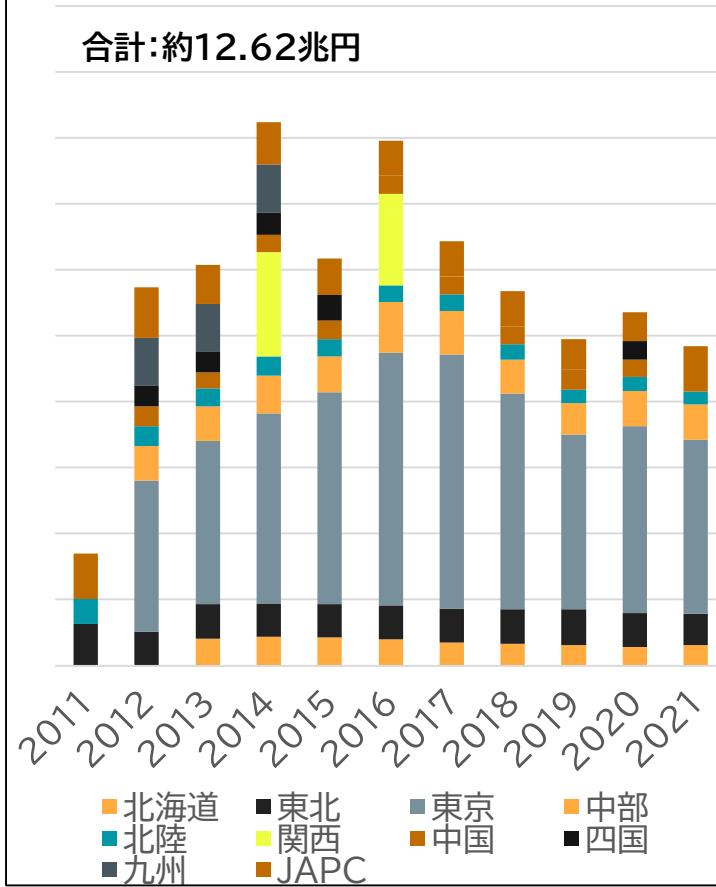
原子力事業者の原子力関連営業費用

合計:約18.6兆円(2011-2021)
約4,226億kWh(同上)
kWhあたり44.1円



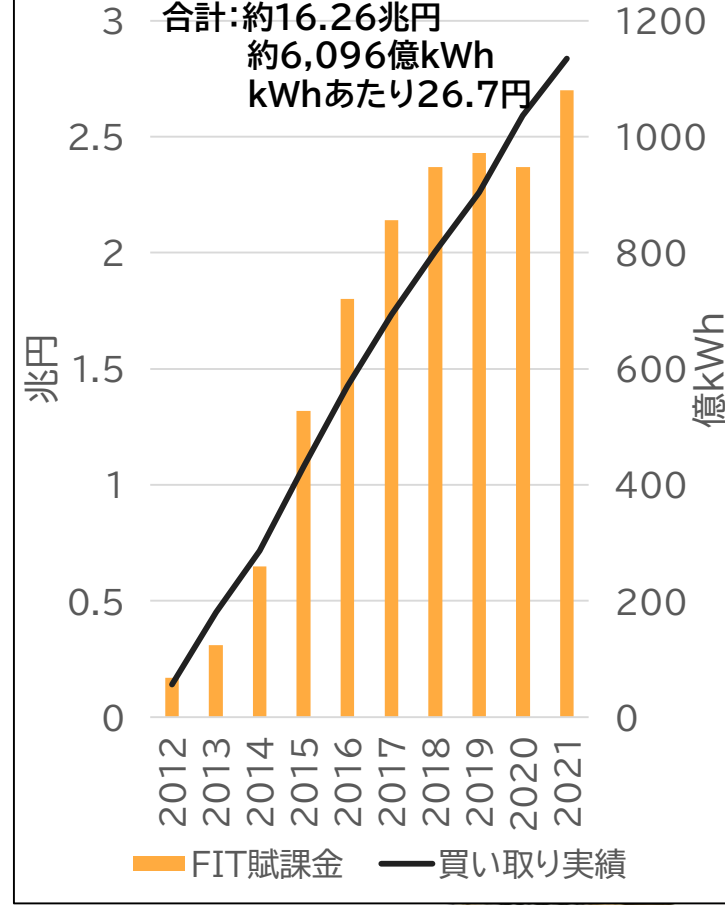
内、原発で1kWhも発電しなかった原子力事業者分

合計:約12.62兆円



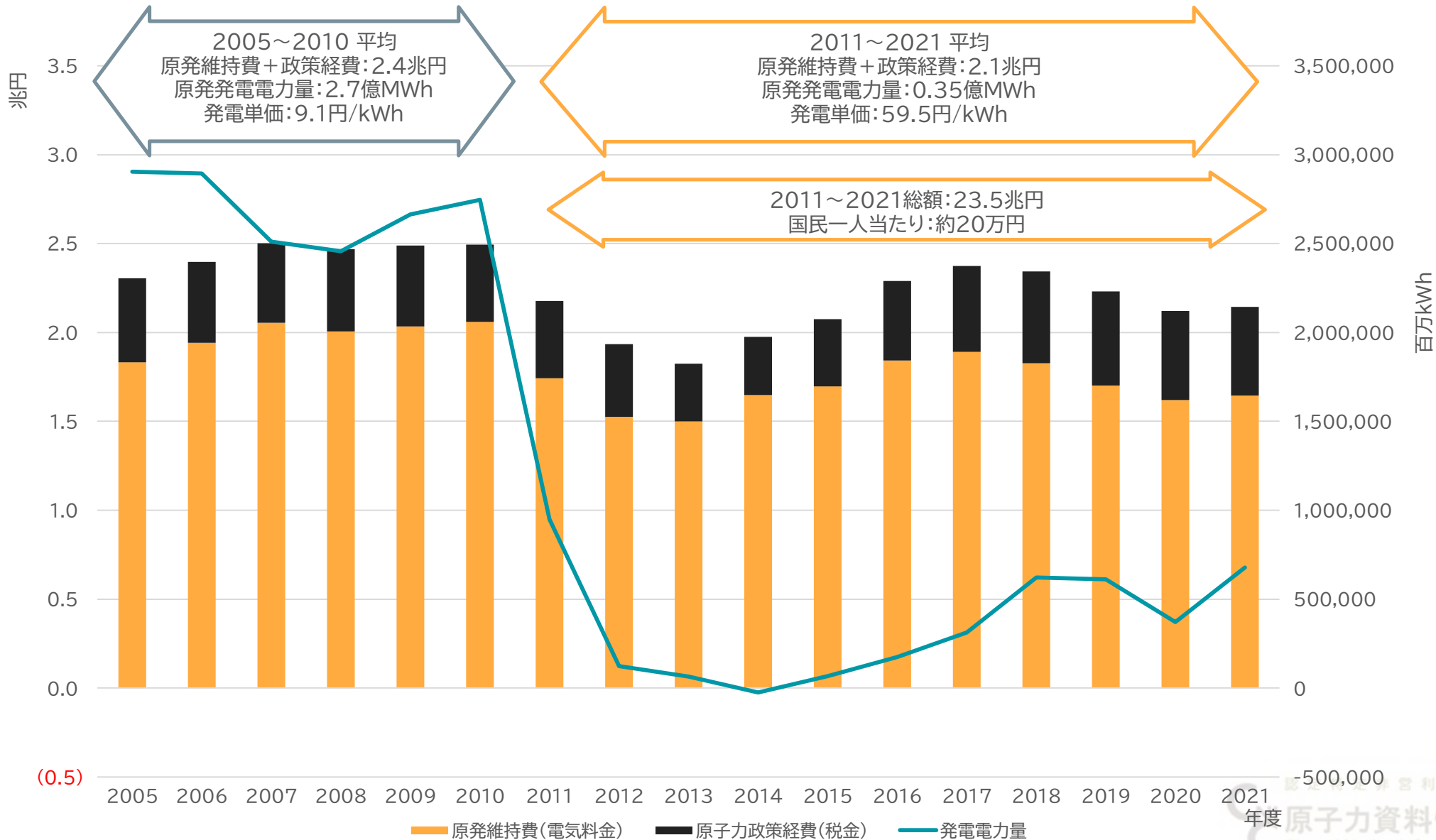
FIT賦課金と買取電力

合計:約16.26兆円
約6,096億kWh
kWhあたり26.7円



FIT賦課金(2022年度単価3.45円/kWh)は賦課金という形で明示化されているが、原発の維持費は発電原価の内数となっているため消費者にはいくら負担しているのか見えない。

原発維持費(2005～2021年度)と原発発電電力量



※注

福島第一原発事故処理費用
21.5兆円以上
(試算によっては35～80兆円)

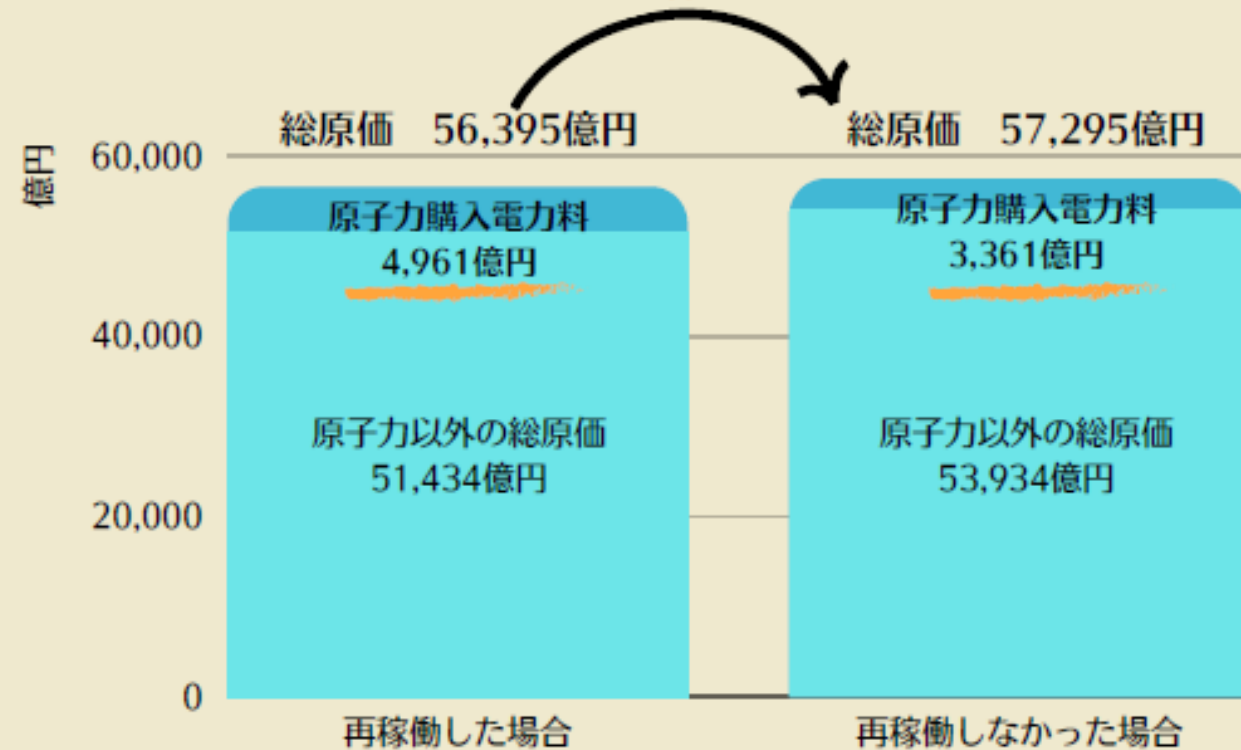
新規制基準対応費用
6.1兆円

は一部が含まれているが、未算入分も多い。

東電電気料金値上げ申請から考える原発再稼働効果

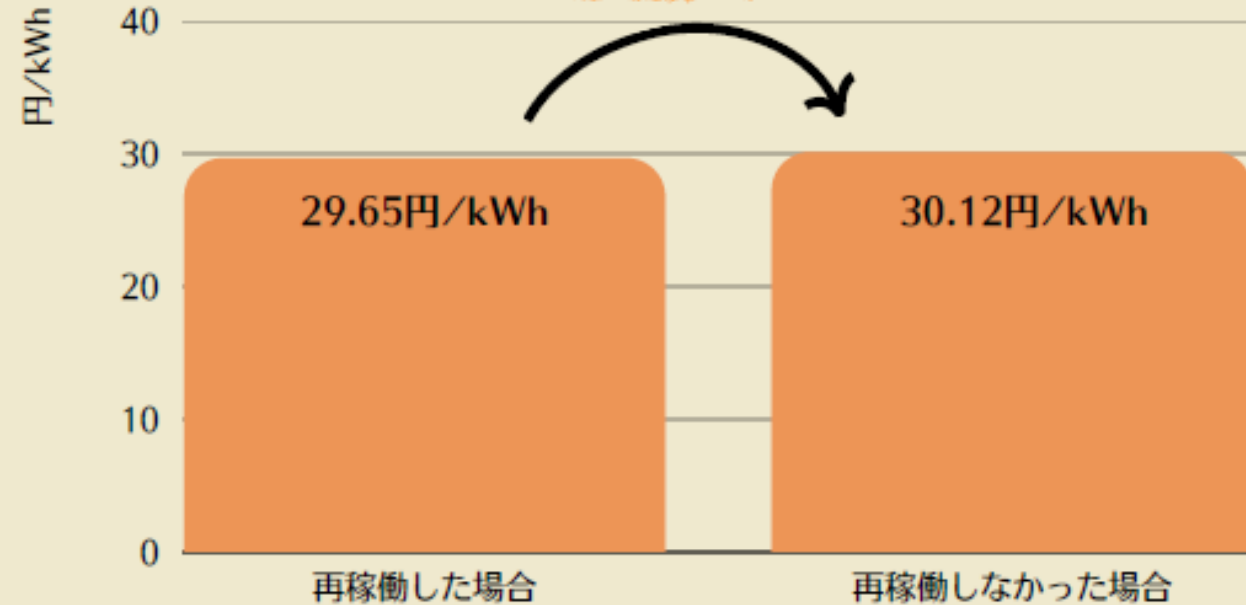
再稼働した場合としない場合の差

900億円

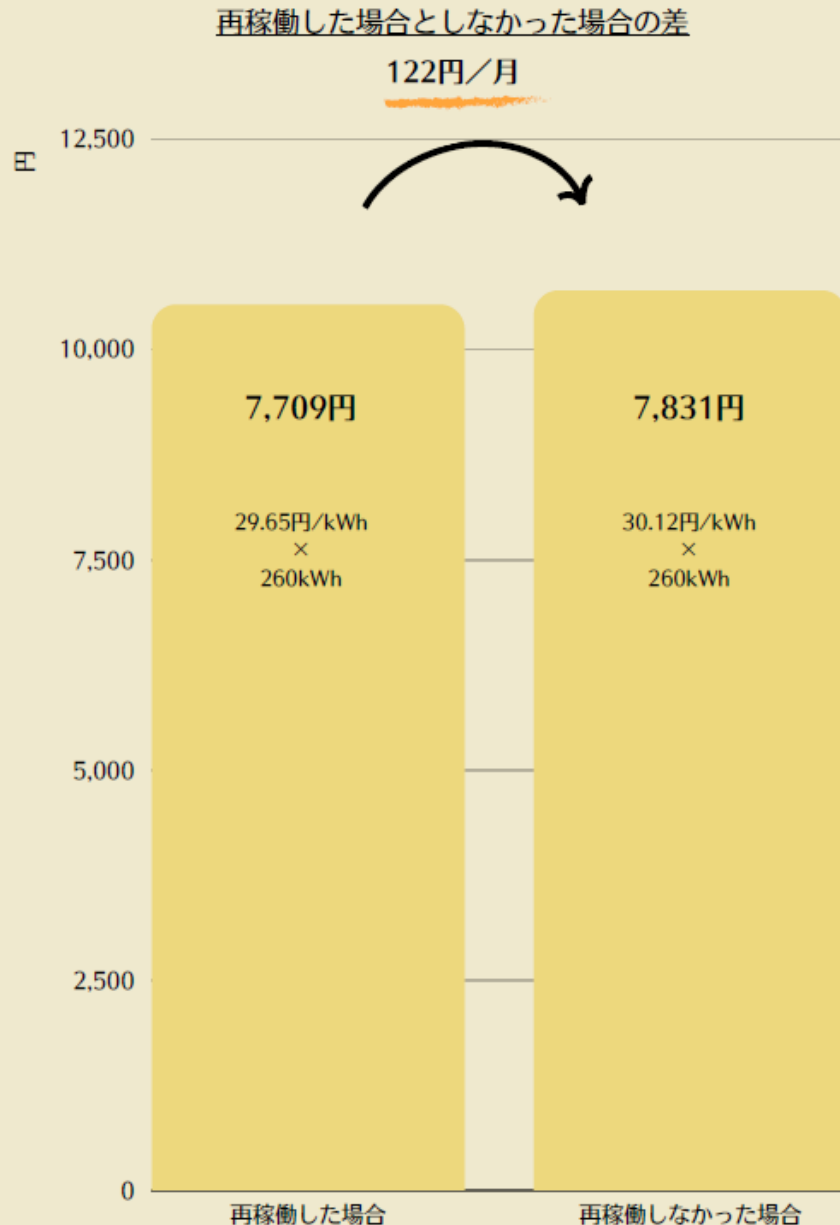


再稼働した場合としない場合の差

0.47円/kWh



122円と679円



原発再稼働による電気料金値下げ効果は 122円/月

※原発再稼働によるkWhあたりの削減効果は0.47円/kWh。原発再稼働による一般家庭1世帯当たりの電気代削減効果は月額122円

一方、原発維持費は679円/月

※原子力購入電力料は4,961億円、販売電力量は1,902億kWh。販売電力1kWhに占める原子力購入電力料は2.61円/kWhとなる。一般家庭1世帯当たりの原子力負担は月額679円